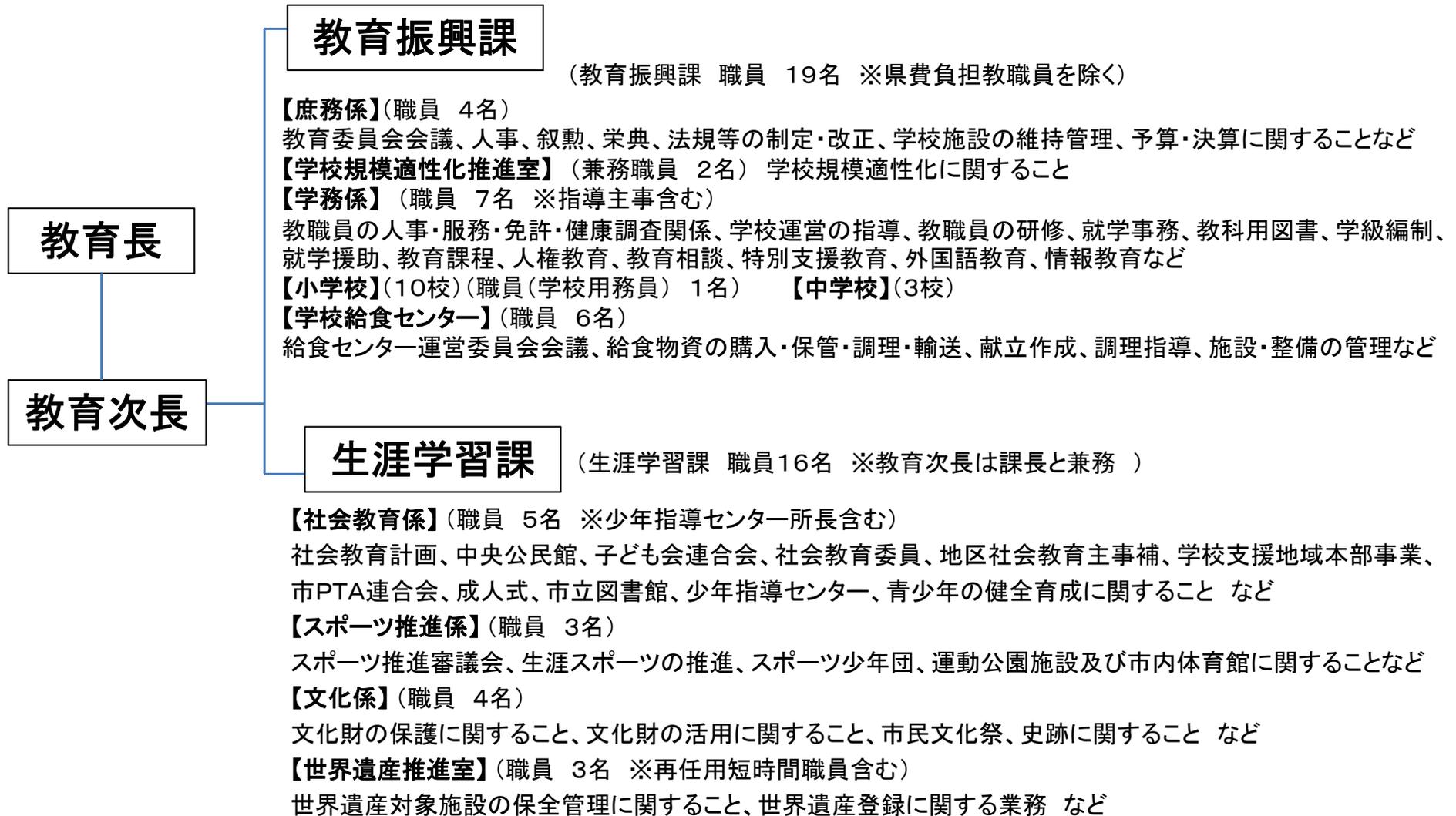


荒尾市の教育について

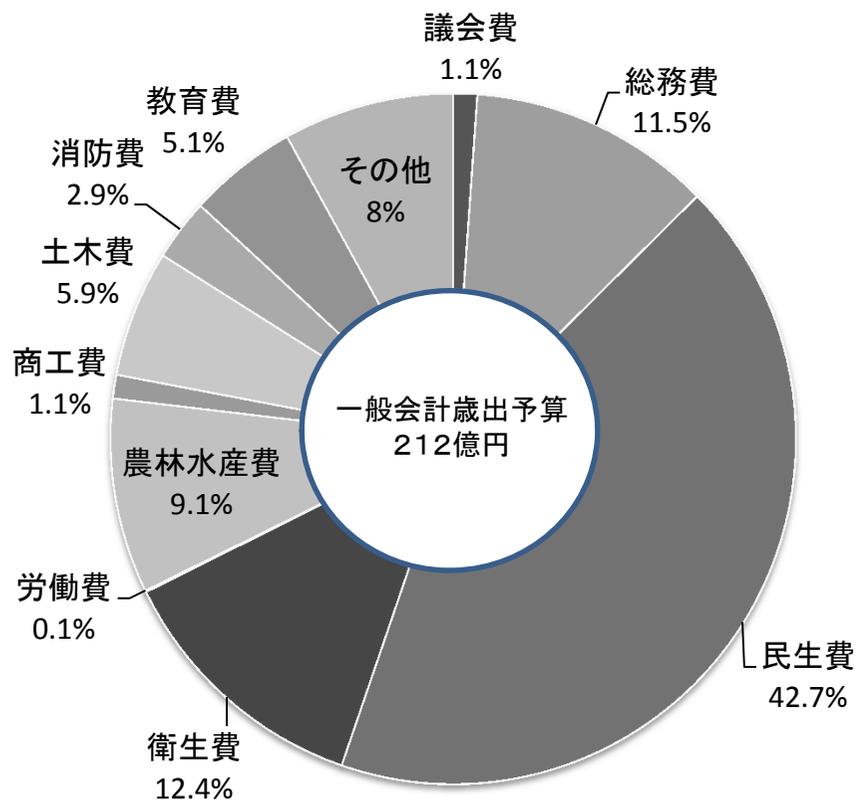
平成27年6月2日
荒尾市総合教育会議資料
教育振興課

教育委員会の組織

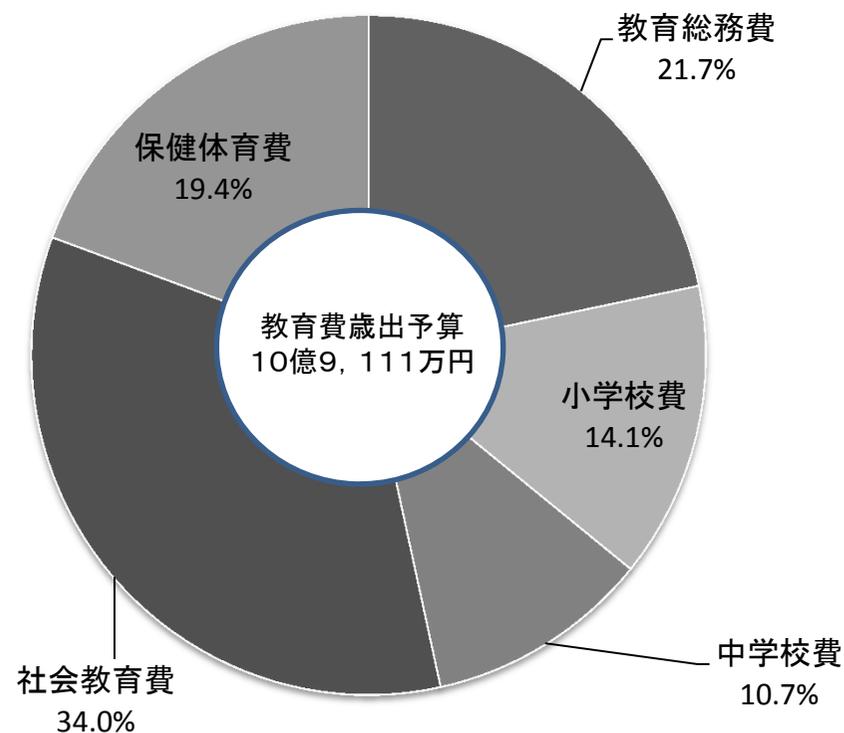


教育費予算【平成26年度当初予算】

H26年度一般会計予算



H26年度教育費当初予算



平成27年度学校教育努力目標

学校教育のねらい

◎「生きる力」をはぐくむ

○基礎・基本を確実に身に付け、いかに社会が変化しようと、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力(確かな学力)

○自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性(豊かな心)

○たくましく生きるための健康や体力(健康・体力)

の知・徳・体をバランスよく育てる。

◎生涯学習社会を展望した教育の推進を図る。

確かな学力の育成

- 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と熊本型授業の質を高める取組の推進
- 全ての子どもが楽しく「わかる・できる」ように工夫された授業のユニバーサルデザイン化
- 国や県の学力調査等の結果活用と適切な学習評価による指導と評価の一体化の推進

豊かな心の育成

- いじめ・不登校、問題行動等の未然防止と解消に向けた共感的人間関係の育成と関連機関との連携による支援体制の強化
- 児童生徒の心に響く道徳の時間の充実と教育活動全体を通じた人権感覚の育成
- 郷土の偉人や歴史、環境についての学習を通して、自他を大切にする心や自然に対する畏敬の念郷土を愛する心を醸成

健康・体力の向上

- 体育・保健体育の授業の一層の充実と教育活動全体を通じた体力の向上及び適正で魅力ある運動部活動の推進
- 自ら健康の保持増進と安全管理のできる児童生徒の育成
- 「食」に関する指導の充実を通じた望ましい食習の形成

一人一人の教育的ニーズを踏まえた教育活動の充実

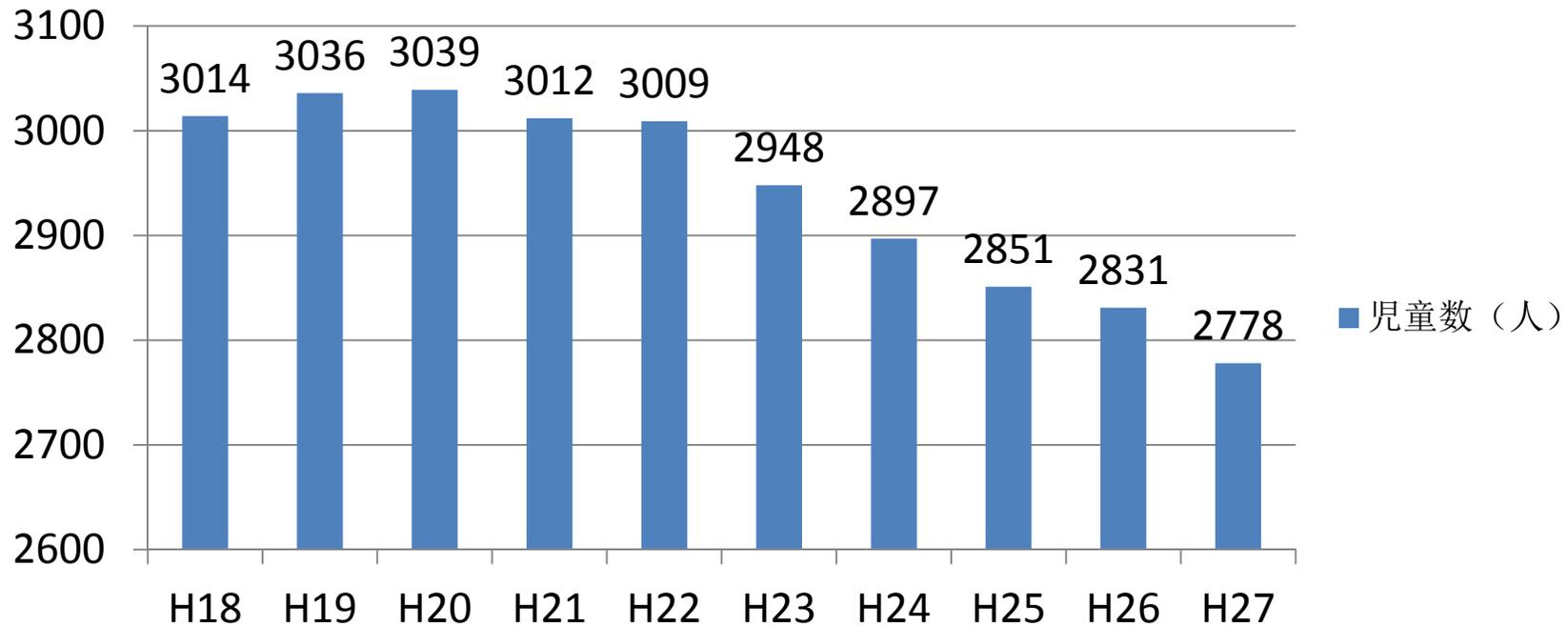
- 開かれた学校づくりの推進
- 教育環境の充実
- 教職員の資質・指導力の向上

児童数

○小学校 児童数 平成27年5月1日付け

学校名	一小	万田小	平井小	府本小	八幡小	有明小	緑ヶ丘	中央小	清里小	桜山小
児童数 (人)	437	432	121	89	274	150	445	543	102	185

○児童数の推移

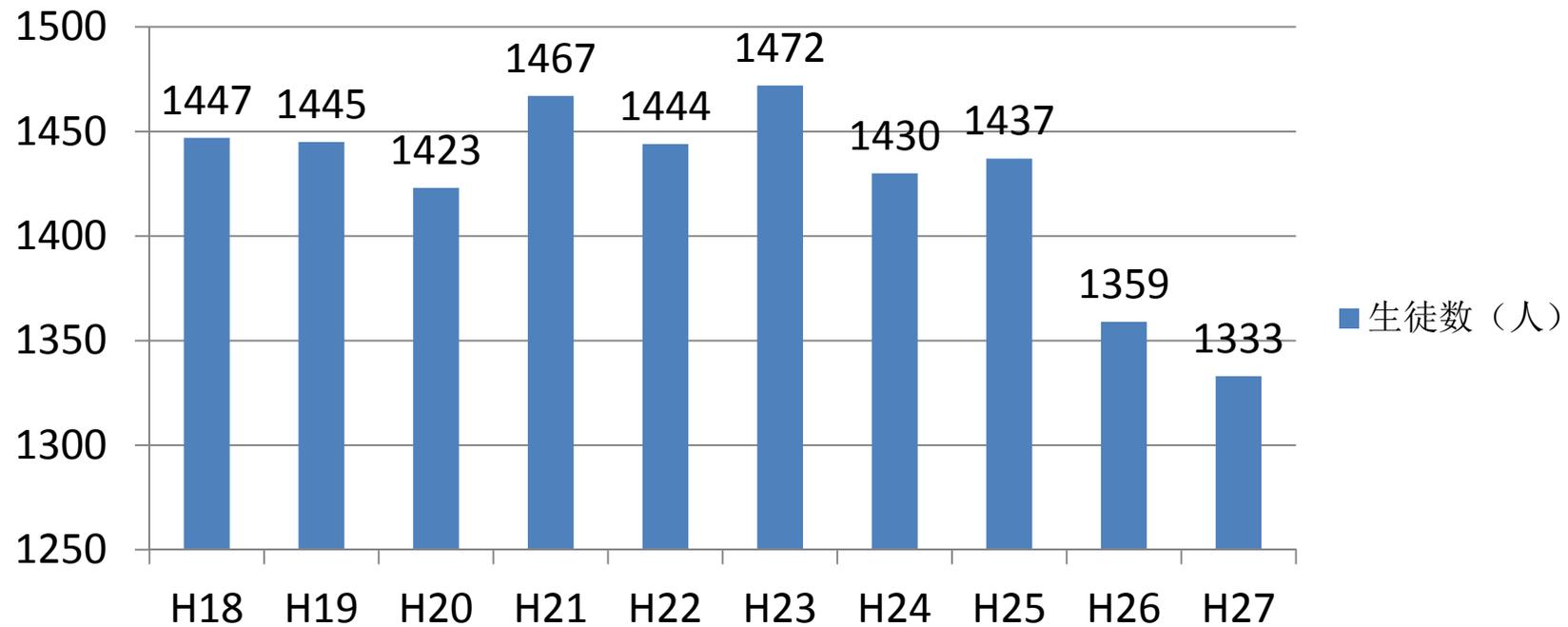


生徒数

○中学校 生徒数(人) 平成27年5月1日付け

学校名	海陽中	三中	四中
生徒数 (人)	605	435	293

○生徒数の推移



学力の状況

(H26年度 全国学力学習状況調査の結果から)

全国・熊本県・荒尾市の平均正答率

○小学校

	国語A	国語B	算数A	算数B
全国(公立)	72.9%	55.5%	78.1%	58.2%
熊本県(公立)	71.6%	54.8%	79.3%	58.5%
荒尾市	66.0%	53.0%	77.1%	53.8%

○中学校

	国語A	国語B	数学A	数学B
全国(公立)	79.4%	51.0%	67.4%	59.8%
熊本県(公立)	79.0%	51.3%	67.4%	61.6%
荒尾市	72.2%	42.6%	57.5%	51.7%

参考

実施日:平成26年4月22日実施

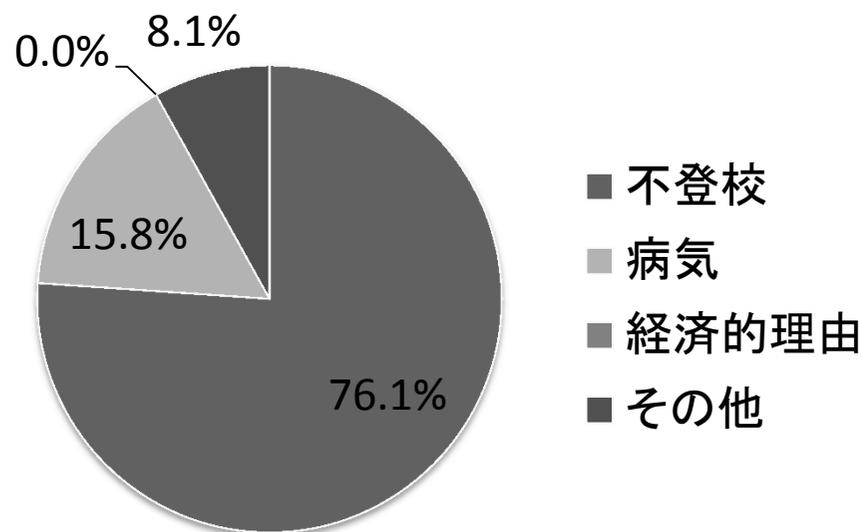
調査対象:小学校第6学年(10校) 489人

中学校第3学年(3校) 449人

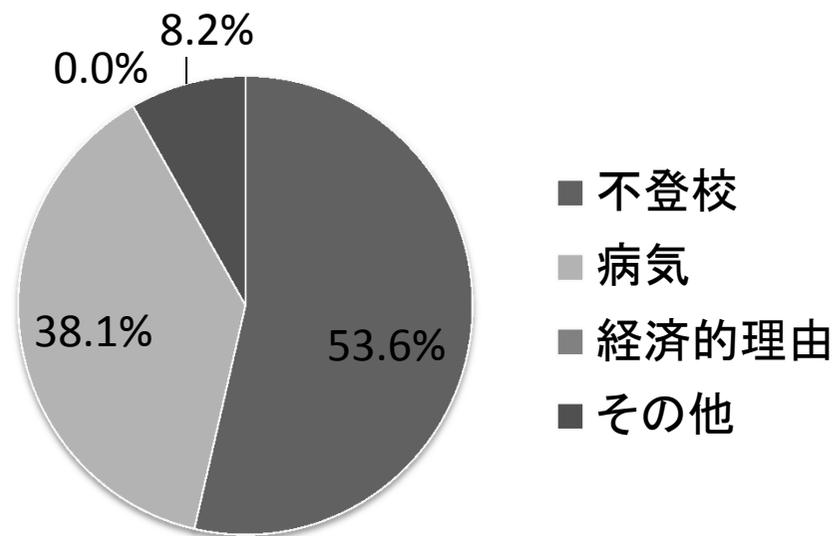
不登校の状況

学校基本調査(H25年度)結果から

長期欠席児童生徒の理由別割合
(熊本県)



長期欠席児童生徒の理由別割合
(荒尾市)



○不登校出現率(小中学校)の推移

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
国	1.13%	1.12%	1.09%	1.17%
熊本県	1.13%	0.96%	0.84%	0.94%
荒尾市	1.86%	1.38%	1.18%	1.24%

いじめの状況

児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査結果から

○いじめ認知件数

	H24年度		H25年度		H26年度	
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
熊本県	3,864件	1,349件	2,549件	872件	—	—
荒尾市	146件	73件	28件	18件	7件	16件

○1000人あたりのいじめ認知件数※1

	H24年度	H25年度	H26年度
国	14.3件	13.4件	—
熊本県	29.1件	19.1件	—
荒尾市	50.6件	10.7件	5.5件

※1 国及び熊本県の1000人あたりのいじめ認知件数については、高等学校、特別支援学校含む。
荒尾市は、小・中学校のみ。

平成26年度 生涯学習課取組の方向

～教育基本法の趣旨を生かして～

生涯学習の理念を踏まえ、すべての子どもが郷土に誇りを持ち、「夢」を描き、実現できるよう、関係機関、各種団体等との連携体制をより強固にしながら、家庭や地域の教育力の向上に努めるとともに、個人の要望と社会の要請に応える生涯学習を推進する。

平成26年度 生涯学習課重点努力事項

家庭教育支援の充実

- 「くまもと家庭教育支援条例」に基づき家庭教育の重要性を広げていくため保護者、学校、地域、関係機関、社会教育団体と連携し支援体制づくりを推進するとともに、参加体験型の「くまもと親の学びプログラム」の普及拡大を図る。また、生活リズム向上の観点から、PTAと連携した「早寝早起き朝ごはん」や「くまもと家庭教育10か条」の推進に努める。

地域の教育力の活性化

- 地域における奉仕活動・体験活動や異年齢による遊びを通して学ぶ機会の充実を図り、郷土を愛する心や豊かな人間性・社会性を育む。各種団体や関係者との連携強化や地域における指導者の育成に努め、地域の子どもは地域で育てることの仕組みづくりと社会的気運の醸成を図る。子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりや学びの場を提供する

社会教育の振興

- 学習の機会や学習の成果を生かすことができる機会の充実を図るため、関係部局・機関等と広く連携しながら、先導的かつ広域的事業を積極的に推進する。また、読書ボランティアの育成とその活用を進めるとともに、読書環境の改善を図る。

社会教育関係団体・施設の活性化

- 社会教育関係団体や中央公民館、図書館等社会教育施設の活性化に寄与するため、情報収集及び提供の充実を図る。また、中央公民館、図書館の指定管理者と連携を密にし、先導的かつ効果的な主催事業を展開するとともに一層の利用促進を図る。2市2町の図書館相互利用により、図書館の広域利用を促進し市民の教養の向上及び文化の発展に努める。

生涯スポーツの振興

- スポーツが住民の生活の一部となるような日常的スポーツ活動を支援し、地域の実情に応じたスポーツ環境の整備・充実を図る。また、地域の教育力として総合型地域スポーツクラブの育成を図る。

文化振興及び文化財の整備

- 荒尾市民文化祭をはじめ各種文化事業を支援するとともに、文化団体の育成を図る。また、世界遺産の登録へ向けた万田坑の保存整備を推進し、貴重な文化遺産に対する市民意識の高揚へ繋げる。また、孫文とその活動を支援した宮崎滔天をはじめとする宮崎兄弟を顕彰活用し推進する。

人権教育の充実

- 「熊本県人権教育・啓発基本計画」を踏まえつつ、社会教育分野において同和問題を人権問題の重要な柱としてとらえ、あらゆる人権問題の解決のために、家庭や地域等における人権教育を推進する。